

県外派遣報告書

審判員名(報告者)	矢萩 真優	所 属	U12 連盟/北部
大会名	令和 6 年度 第 56 回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会		
期 間	2023年 3月28日 ~ 31日 (参加日: 3月28日~3月30日)		
会 場	国立代々木競技場第一体育館、第二体育館		
ス ケ ジ ュ ー ル			
期 日	内 容	場 所	
3月25日	事前研修会	ZOOM 会議 参加者自宅他	
講義内容			
<p>講師: 山本 雄大 氏 (三重県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全国大会への心構え <p>積極性 (判定、仲間作り) , 思ったことはクレーに伝える (エッジを超える) , お互いをリスペクトする (クレー、監督、プレイヤー、TO、MC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●U12 大会の性質 <p>1対1, ルーズボール, ゴールテンディング、インタフェアレンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2PO のメカニクス <p>ファウルの三原則、ホイッスルのタイミング, スリーポイントの導入</p> <p>映像を用いて、プライマリーやアングルの取り方、ポジショニング等、ディスカッションを通じて理解を深めた。</p>			
担当試合①			
期 日	3月28日 (金)		
対戦カード	大分県 vs 高知県		
ク ル -	CC: 井澤 元花 氏 (東京都) U: 矢萩 真優 (埼玉県)		
ミーティング内容		審判主任: なし	
<p>▶ゲーム前の PGC</p> <p>チームメンバー表にてスカウティング。ペイシエント・ホイッスルの意識。赤旗が上がった際の対応。</p> <p>▶ゲーム後のミーティング</p> <p>TO 管理、けがをした選手への対応に課題が残った。小学生ということもあり、より注意を払う必要があった。</p> <p>また、後半メンバーが揃うとディフェンスがタイトになり、クレーで協力してコールしていたが、そうならないためにも前半にディフェンスの手の整理や、アクティブなマッチアップに対して簡単に笛を入れておくべきだった。</p> <p>負けているチームの選手が最後まで諦めずに戦えるメンタルは、審判の笛でも左右されると改めて感じた。</p>			
担当試合②			
期 日	3月29日 (土)		
対戦カード	愛知県 vs 香川県		
ク ル -	CC: 榛澤 直行 氏 (神奈川県) U: 矢萩 真優 (埼玉県)		
ミーティング内容		審判主任: なし	
<p>▶ゲーム前の PGC</p> <p>前日の試合の映像からチーム情報の共有。試合中に気が付いたことなど、積極的にコミュニケーションを取る。</p> <p>小学生最後の全国大会の舞台に立てることに感謝し、協力して試合を進める。</p>			

▶ゲーム後のミーティング

負けているチームの選手も最後まで戦おうとしていた点は良かった。

しかし、ボールをもらうプレイヤーに対しディフェンスが密着しているケースが多く、イリーガルなコンタクトを起こした際にコールできなかった現象が複数あった。同時に何対もそのようなディフェンスをしている場合や、2人の中で起こるものに対して目を当て切れていなかったため、ポジションやアングルの取り方を工夫すべきだった。

担当試合③

期 日	3月30日(日)
対戦カード	福井県 vs 大阪府
ク ル -	CC：松崎 かおる 氏(茨城県) U：矢萩 真優(埼玉県)
ミーティング内容	審判主任：なし

▶ゲーム前のPGC

チームメンバー表にてスカウティング。2POのメカニクス。2人の間が広くなりすぎないように、分担して10人の選手を見る意識。山本氏の事前研修会でもあった、1対1の部分や、ホイッスルのタイミングについて。

▶ゲーム後のミーティング

ペイントエリア内の狭いところでのセカンドショットに対してノーコールで判定していた現象や、ファウルコールした現象など、ベンチや観客からみるとどのように感じるのか考える必要があった。

また、簡単に笛を鳴らしてしまうのではなく、どのような思いで選手がプレーしているのか、選手の頑張りを認めてあげる、という考え方も判定に必要な要素であった。

全体の感想

この度は、マクドナルド全国ミニバスケットボール大会へ派遣の機会をいただきありがとうございました。普段とは違った環境で緊張もありましたが、コート上で決断し、表現することができたと感じています。この3日間で浮き彫りになった課題や、反省点をそのままにせず、今後活かしていきたいと思います。

また、ライセンスや年齢を問わず、様々な人の審判を見たことで、見栄えがその人自身の個性や強みを引き立てていると感じました。私も自分の色を出せるようにプレゼンテーションを追求したいと思います。

最後になりますが、大会期間中朝早くから夜遅くまで大会運営をしていただきました東京都バスケットボール協会の皆様、審判員の皆様、割当クルーやTO役員、その他大会に関係するすべての皆様に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

※本報告書の体裁は報告者自身にて自由に変更いただき問題ありません。分かりやすいよう図や写真を入れることも可能です。